



The Y's Men's Club of Sendai

仙台ワイズメンズクラブ2024年2月報

会 長	永井孝憲	副 会 長	佐々木絹子
書 記	高松成士	会 計	吉田一恵
メ ネット会長		担当職員	高橋光子

- 国際会長主題 「輝かそう、あなたの光を」
- アジア太平洋地域会長主題 「変革のための光となろう」
- 東日本区理事主題 「未来のために今、学びと気づきを！未来のために、自信を育み、真の喜びに出会う！」
- 北東部長主題 「クラブのミッションを育てよう」
- クラブ会長主題 「若者とともに、YMCA との提携を深める」

仙台クラブ事務所 : 〒980-0822 仙台市青葉区立町 9 番 7 号 仙台YMCA内
仙台クラブ Facebook: <https://www.facebook.com/sendaiys/>

<今月の聖句>

「新しい歌を主に向って歌え。主は驚くべき御業を成し遂げられた。右の御手、聖なる御腕によって 主は救いの御業を果たされた。」 詩編 第98編1節

「 思い込み 」

小幡 忠弘

つい最近、思い込みによるちょっとした事件がありましたのでご紹介いたします。

事件といっても大層なものではございません。ひょっとしたら皆さんの身にも起こりうることもかもしれないので少しばかりお付き合いください。

先週ですが、私の携帯電話に見慣れない番号からの着信があるのに気付きました。詐欺か勧誘の電話かと思い放置しておりました。念のため、ネットで着信のあった番号を知らせてみると佐川急便の配達員らしいとのことでした。何か配達があるのなら、また電話が掛かってくるだろうと思っていたら、数日後に佐川急便から連絡があり、荷物の配達のため住所確認の電話でした。差出人は誰か尋ねましたが、海外からの荷物ということだけしか教えてもらえませんでした。私は、つい先日アマゾンから3点ばかり注文し、大雪のため、遅配が発生し何度もやり取りをしていましたので、もしや何か別なものを注文してしまったのかと思い、確認のため到着を待つことにしました。そして先日の2月13日に郵便ポストに佐川急便からの不在票が入っておりマンションの管理センターに預けてあるとのことだったので行ってみました。

管理人さんに不在表を渡すと、それらしき荷物を渡されました。パッケージはアマゾンでした。やはり何か誤って注文してしまったと思い、徐にパッケージを開封すると、全然身に覚えもない商品が入っており、よく見ると届先がまったく違う住所と名前でした。まさかの展開にどうということか訳がわからなくなり、配達人の配達ミスかと思いましたが、開封してしまったことを謝罪し、訳を説明して管理人に戻して帰ってきました。一応念のため、不在票



ももらって帰ってきました。本当の届出先の方とトラブルになったときのために。そして15日なり今度は管理センターから私の妻に荷物を受取っていないので、取りに来てくださいと連絡が入ったとラインが送られてきました。すぐに妻に確認し、埒が明かないので管理センターに電話してみました。すると私宛の荷物が確かに届いているとのこと。しかも2月13日に届いていたということでした。そうなのです。本当の私の荷物も13日に管理センターに届いていたのです！！つまり、管理人が別の方の荷物を私に渡しただけだったのです！普段なら確認するはずのことを、佐川急便から連絡もあり、不在票も私の部屋番号のポストに入っていたために、自分に届いた荷物を渡されたと思い込み、届出先を確認せず開けてしまったのです。また、13日に私に届いた荷物も、12月に注文はしていたものの3月ごろに配達される予定のものだったのに、すっかりその存在を忘れてしまっていたのです。いくつかの偶然と確認不足が重なって今回の荷物取り違い事件が発生してしまいました。自分は騙されない、間違えないと思っていたのにとても残念な結果となってしまいました。今回は騙されたわけではありませんが、オレオレ詐欺など人をだます手口はますます巧妙になっています。電話でのやり取りは細心の注意を払い、生年月日や口座番号などの個人情報を簡単には伝えない、お金の問題は直接会って確認する、一人で判断しない、たとえ行政や家族を名のられても急な要求（お金や個人情報）には応じず、本人や行政にこちらから確認するなどの対策を事前にご家族と話し合っていた方が安心です。みなさまもお気をつけください。



2月のお誕生日

2月4日 工藤 悦子さん
おめでとうございます



2月の例会

日時：2月20日（火）
18：30 ～
会場：仙台 YMCA
内容：次期役員選考 他
担当：三上・高橋
食前感謝：高松

1月 23日例会報告

在籍者	11名
出席者	7名
メイキャップ	0名
ゲスト・ビジター	0名
メネット・コメント	0名
出席率	63%
ニコニコ	6,500円



2月の強調月間について

東日本区国際・交流事業主任 板村哲也さんのメールより抜粋

1. TOF（断食のとき）



TOF (Time of Fast タイム・オブ・ファスト) は「断食のとき」のことで、ワイズの国際事業の中心的活動の一つで、1972年に始まりました。クラブ例会などでの食事を抜いたり、質素なものにしたりして、その分の費用を国際協会に献金するものです。献金は国際協会が世界中のYMCA、ワイズメンズクラブから募集して選定する発展途上国を主な対象とする地域支援プロジェクトに用いられています。

対象とする地域支援プロジェクトに用いられています。

2023/24年度の新たなTOFプロジェクトは第53回国際議会（2023年7月、ケニア共和国ナイロビ）で選定されました。カメルーン、ナイジェリア（2件）、ネパール、ミャンマー、インド（3件）、ペルー、コロンビアでの計10件で、総額94,050スイスフラン（約1,600万円）の給付が承認されています。

2. HTW (世界を癒そう)



HTW (Heal the World ヒール・ザ・ワールド) は「世界を癒そう」のことで、コロナパンデミックを背景に国際協会が2020/21年度に開始した「統一国際プロジェクト (UGP=Unified Global Project)」です。ワイズメンズクラブの認識度の向上を願って行われている国際レベルの統一事業で、世界を癒すために、強固な国際的な関与と組織的な連携、連帯を構築して、私たちのボランティアの力を、より発揮することを

を目的としています。主な活動内容は次の通りです。

- ・ 救援物資の提供：災害時や特別緊急時に必要な救援物資を提供する。
- ・ ボランティア支援：困窮地域社会において、地元で、また国境を越えて、家屋やコミュニティ資産を建設または再建するためのボランティア・サービスを提供する。
- ・ 医療/健康管理プログラム：世界各地の低所得者層へ医療および基本的な保健/衛生サービスを提供する。
- ・ 専門家のネットワーク構築：リソース（知識、資金、スキル）の共有と目標とする協力のためにデジタルスペースを用意し、そこでムーブメントリーダーや特別なスキルを持つクラブ会員がつながり、建設的に協働することにより、国際協会が高度な専門性を持って活動できるようにする。

プロジェクトの資金は、主として TOF 献金が用いられます。

これまで、インド、ラテンアメリカの新型コロナウイルス感染者支援活動やウクライナ支援が HTW のプロジェクトとして行われてきました。



私の好きな Y' S の思い出あれこれ 「私の好きなワイズ・ソング」

佐々木 絹子

「♪歌えば 心ひとつに とみがき ひろがり行きて
遠きも近きも 皆 捧げて立つや ワイズメン (ウイメン) ♪ 」

このワイズソングを歌う時、本当に「ワイズって、いいなあ～」と思わせてもらい一段と大きな声で歌います。心ひとつにするという作業は、なかなかむづかしいです。聖書の中に、神様は語ることをひとつに、仲間割れせず同じ心、同じ考えで一致しなさいと教えてくださいます。でも、あの仲間とはとても心をひとつにできないかな？ あのチームとは、上手にいかないな？とってしまう私がありますが、ワイズのお仲間とは、「YMCA」を思う強い思いでつながっていることを思われ、同じ目標に向かって心ひとつにするという作業が楽しくて成り立っています。



「♪いざ立て 心あつくし 手を挙げ 誓い新たに 我らのモット 守るふさわし
その名ワイズメン (ウイメン) 絶えせず めあて望み この身を捧げ尽くさん ♪ 」

この1番の歌詞を心から愛して、これから何回も続けて大きな声で歌ってまいります。



1月例会報告

期 日：2024年1月23日（火）18時30分～20時

※第3火曜日（16日）開催は正月明け間近ということで
年次計画で第4火曜日としていました。

会 場：仙台YMCA 203教室

出席者：永井、吉田、中川、今澤、小幡、高橋、高松

※三上さんが当日欠席となりました。（事前、連絡有）



永井会長より直前に「今向かっていますが少し遅れるのではじめて下さい。お願いします。（メール文そのまま）」とのメールが入り、司会担当の中川ワイズの挨拶で開会した。

開会点鐘は、会長未到着の為、高松ワイズが代わった。

司会により、今月の聖句「詩編第98編 1節」の朗読があり、続いてワイズソング、ワイズの信条と続いた。

会長の挨拶も会長未到着の為、司会者より「出席の後いただくこと」とすることが渉猟された。小幡ワイズによる「食前感謝」が石川能登半島地震の被災者に向けた祈りと共にささげられた。



食事が始まり 10分程度で永井会長が到着し、「今年もよろしくお願ひします。」との挨拶があり、会食が続いた。会食中は、永井会長の話に賑わった。一部より、「お坊さんの四方や話」などのスピーチの希望もあったほどだった。22年に亡くなられた稲盛和夫氏も在家得度（仏陀(ぶつだ)の悟りの世界にわたる(=度)こと)されたこと、清原和博氏（元プロ野球選手）の護摩行のことなどは目が爛々としていた方もおりました。

会食もほどなく終え、司会より、そろそろ会の進行に努めたいと思いますとの呼びかけがあり、続いて司会より、協議は会長の説明と進行で進められることが確認された。

（協議1）次期役員選考について

永井会長より、「先般、中川ワイズと打ち合わせご相談させていただき、次期会長を了承いただきましたので、皆様に報告いたします。」との説明の後、出席者より賛同の声と賛成の拍手がありました。続いて、永井会長より、「会長他の次期役員は、次期会長の選考に一任しますがよろしいか。」との意見があり、こちらも出席者同意しました。その後、高松ワイズより、「本日欠席の佐々木副会長より、会長、会計以外は自分ができることはお引き受けいたします。」との連絡が入っていますとの報告があった。最後に永井会長より、「これから中川次期会長より次期役員への依頼が入ると思いますので、皆様ご協力の程、宜しくお願ひいたします。」とのお願ひがあった。

（協議2）2月例会について

永井会長より、2月例会はTOF例会となるが通常例会（断食なし）で開催したいとの提案があり、一同了承した。

（協議3）その他

- ・ロースターを1冊はクラブで購入し、必要な方分も発注する。
- ・岡久雄功労会員には、仙台クラブだけではなく西日本区、東日本区ワイズで永らく貢献された方との認識をクラブで共有している。次期会長より功労会員としての継続を丁寧にお願ひすることとする。但し、岡さんの意向は尊重する。
- ・東日本区事務所より、多くのメールや郵便が届くので整理と精査、情報提供を行う。

小幡ワイズより、YMCAよりの連絡報告（石川能登半島地震被災者支援募金、ピンクシャツデー）があった。

誕生祝の佐々木絹子ウィメン、三上雅敏ワイズ欠席の為、割愛し、プレゼントは佐々木さんは吉田ウィメン、三上さんは高松が預かり、手渡す機会がある場合は手渡すこととし、皆での祝いは次月に持ち越すこととした。

ニコニ献金は6,500円であった。

閉会挨拶。吉田ウィメンより、「コロナ後、第2例会が開催されず寂しい。ワイズの情報もメール等が多くなり、第2例会開催も必要となるよう頑張りましょう。」との閉会挨拶があった。

閉会点鐘は永井会長により行われた。

（文責：高松）